

「恋人の聖地」大興善寺(基山町)

「恋人の聖地」の銘板(右端)が設置された場所を訪れた寺コンの参加者ら。基山町の大興善寺



良縁求め



寺コン

基山町

昨年7月、「恋人の聖地」

に選ばれた基山町の大興善寺(神原玄應住職)で17日、結婚を望む男女の出会いを

提供する「寺コン」が開かれた。20～30代の男女各17人が法話を聞き、ツツジ寺として知られる緑豊かな周辺を散策した。

34人参加 クイズやゲームで距離接近

参加者たちは、木々の緑に囲まれた「恋人の聖地」の銘板を訪れた後、町民会館に会場を移して自己紹介やクイズ、ゲームなどを通して、互いの距離を近づけた。木原部長は「婚活イベントを通して、基山町により多くの人を呼び込むきっかけになれば」と期待を寄せた。(平有治)

同寺が建てられた契山には夫婦の契りを交わした神話が残り、「愛の喜び」という花言葉を持つツツジが咲き誇る。男女の新しい出会いにぴったりの場所として、基山町商工会青年部(木原大貴部長、30人)が初めて企画した。

「基山に婚!」と題した婚活イベント。町在住や町内勤務の男性と、鳥栖市や久留米市など近隣からの女性が参加。境内で初対面した参加者は、まず本堂で神原住職の法話を耳を傾けた。1300年に及ぶ寺の歴史や、契山の神話、男女の出会いや人と人との縁について思いをはせた。